

「いのち」の大切さ 考えてみませんか？

今回のテーマ展示は...
「いのち」について考えてみる

あなたは、命の大切さや自分の生き方について、
考えることはありますか？

県立図書館では、県立医療技術大学と協力して、
平成17年度から県内の高校生を対象に年に数回の
「ブックトーク&メディカルトーク」を開催しています。
今月は、このブックトークで紹介してきた本を展示します。

「命」を守る医療の現場に関する本、
自分の生き方を見直すきっかけとなる本、
「命」の大切さに改めて気付かせてくれる本...
若い世代のみなさんにおすすめします。
ぜひ一冊手にとって、読んでみてください。

YAコーナーの展示の様子です。



今年度のブックトークの様子をご紹介します！

H21年第1回ブックトーク（県立吉田高等学校）
『生きる』 ～ブックリスト～

- 『生きる わたしたちの思い ～第2章～』
谷川 俊太郎 with friends/著 角川SSC
- 『メジルシ』
草野 たき/著 講談社
- 『まだ17歳だけど、人生って面白いと思う』
岩淵 大起/著 ポプラ社
- 『夢を跳ぶ パラリンピック・アスリートの挑戦』
佐藤 真海/著 岩波書店
- 『十二番目の天使』
オグ・マンディーノ/著 坂本 貢一/訳 求龍堂

県立医療技術大学
教授村井先生の
メディカルトーク



県立図書館員の
ブックトーク「生きる」

ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。
アドレスは tosyokan@pref.ehime.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)
お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。

「いのち」について考えてみる
展示本の紹介

「未来への手紙」

『未来の自分に、手紙を書こう。』プロジェクト/編 講談社 (2009)
アンジェラ・アキさんの実話から生まれた名曲『手紙～拝啓
十五の君へ～』。
時を超えて、自分へ伝える100通の手紙。
「夢」「家族」「幸福」「希望」「誓い」の温かく、真剣なメッセージ。
[816-ミラ-2009]

「夢を跳ぶ パラリンピック・アスリートの挑戦」

佐藤真海/著 岩波書店 (2008)
大学でチアリーダーとして活躍していた著者が、骨肉腫を発症して
右足を失うことになる。生きる希望を失くし、失意のどん底にいた
ときに陸上競技と出会い、新たな人生を歩み始めた。
日本代表選手として北京パラリンピック出場を果たすまでの
歩みを語る夢と希望にあふれる手記。 [1782-サマ-2008]

「明日につづくリズム」

八束澄子/著 ポプラ社 (2009)
島を出るのか、残るのか...。
因島を舞台に、夢と現実に揺れ動く中学生たちの成長物語。
ポルノグラフィティの歌が胸にしみ、歌に勇気をもらう。
家族、友情、将来...悩みながらも、一步を踏み出したいあなたへ。
[913-ヤス-2009]

「命について考えてみる」ということは
「自分」を見つめるよいきっかけになるのでは？

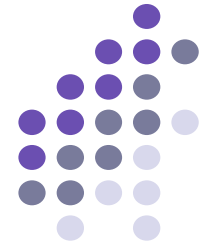
愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL:089-941-1441 FAX:089-941-1454
開館時間 (火～金)午前9時40分～午後7時
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時
休館日 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

<http://www.library.ne.jp/ehime/>

YAつうしん

Vol. 7 2010. 2



YAコーナーは
3階一般図書室内にあります。
初めての方も気軽にどうぞ！